



## 高島<8007>、小野産業<7858>をTOBにより完全子会社化へ



高島は、小野産業に対してTOB（株式公開買い付け）を実施し同社の完全子会社化を目指すと発表した。買付代金は最大で15億5600万円。小野産業社長の小野大介氏のほか同氏の親族が所有する計32.91%の株式をTOBに応募することで合意している。TOBの成立後、小野産業はJASDAQへの上場が廃止される見込み。

高島は建築・土木資材や太陽エネルギー関連製品など多様な製品を取り扱う専門商社。一方、小野産業はプラスチック製品の製造・販売を手がける。高島は、小野産業のメーカー機能を取り込むことで製造から販売までの一貫したバリューチェーンの構築が可能となるほか、小野産業側においては販売チェーンの拡大や効率的な経営管理体制の構築が見込めると判断した。

買付価格は1株あたり403円で、公開前営業日の終値337円に対し19.58%のプレミアムを加えた。買付予定数は386万1671株で、下限は257万4000株（議決権の3分の2以上）。買付代金は15億5600万円。買付期間は2015年8月14日から9月29日まで。決済の開始日は10月6日。